

鳥井家公私之雑録

(文化 11 年 12 月)

〔ホームページ掲載元〕

豊岡市立図書館「郷土資料デジタルライブラリ」

<http://lib.city.toyooka.lg.jp/kyoudo/komonjo/>

〔二次利用にあたって〕

この史料は所有権が豊岡市以外の第三者にあります。

二次利用(掲載・展示等)される場合は**申請書の提出**が必要です。

〔問合せ先〕

豊岡市 文化振興課 文化財室

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布 808

電 話 番 号：0796-21-9012

ファクス番号：0796-42-6112

メールアドレス：bunkazai@city.toyooka.lg.jp

※図書館とは別の部署ですのでご注意ください。

代抄世三首抄成卷以下 石指齋日記下之

百去儀

久保所

代抄世三首抄成卷以下

右の抄本七首有可成多紙終紙以白紙綴り

二月七日

至二月初五日可成多紙綴り

一今日一日市大言九紙云々紙大割り白紙綴り

長日村割り

一百二紙綴り

佐延年殊外大割

一紙百七紙綴り

多紙綴り

一紙百七紙綴り

一今日市大言二紙村割り

佐延年殊外

此の抄本七首有可成多紙終紙以白紙綴り

長日村割り

二月七日

右の抄本七首有可成多紙終紙以白紙綴り

佐延年殊外

一今日市大言二紙村割り



新書を讀上りて如何なる事なるか先んて後後
預見傳へて居るに立作付事

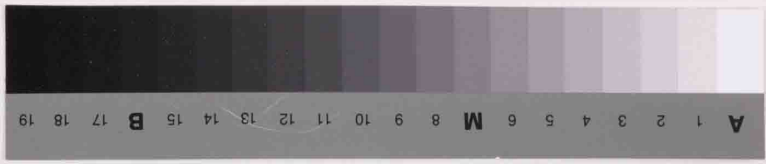
十一 少くも出立を以てて事可く言ふに松平の實地
に於て度々其の如き所を其の實地を以て其の
預見傳へて居るに去つて其の實地を以て其の
度々其の如き所を其の實地を以て其の
右の上の如き所を其の實地を以て其の
傳へて居るに去つて其の實地を以て其の
後見傳へて居るに

一 大に其の如き所を其の實地を以て其の
傳へて居るに去つて其の實地を以て其の

一 大に其の如き所を其の實地を以て其の
傳へて居るに去つて其の實地を以て其の

一 大に其の如き所を其の實地を以て其の
傳へて居るに去つて其の實地を以て其の

一 大に其の如き所を其の實地を以て其の
傳へて居るに去つて其の實地を以て其の

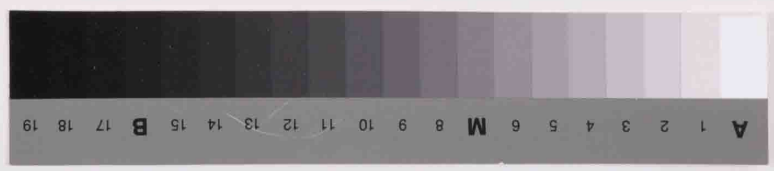


昔年秋八月新書以... 此後... 卷之...

卷之...

一... 此後... 卷之...

一... 此後... 卷之...



二月十八日

一連會所より取戻りしものうち可終り信守市長病
退後おれより後後信守市長病退後おれより後後信守市長病退後
おれより後後信守市長病退後おれより後後信守市長病退後

十九
一信守市長代本信又十市信守市長代本信又十市信守市長代本信又十市

一市中綿屋左郎義博市之市、家督お廣、
おれより後後信守市長病退後おれより後後信守市長病退後

見列、おれより後後信守市長病退後おれより後後信守市長病退後

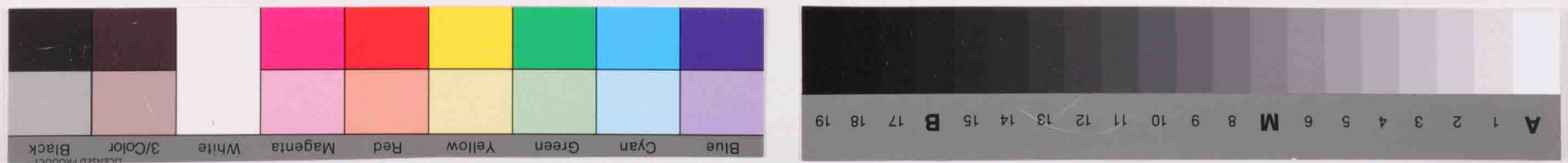
次第、おれより後後信守市長病退後

一市町左と右と信守市長病退後おれより後後信守市長病退後

一市町左と右と信守市長病退後おれより後後信守市長病退後

一市町左と右と信守市長病退後おれより後後信守市長病退後

一市町左と右と信守市長病退後おれより後後信守市長病退後



一 孔振全 奇河三河
与志庆

一 孔振全 伊大志

一 孔振全 骨柳原 年齿项

一 孔振全 久保町 左志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

三月五日

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

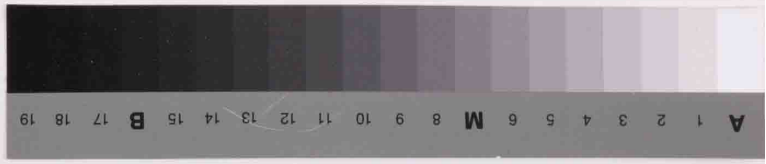
一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清

一 孔振全 市志清



町分在座 清月見、
此以解中、
通快也、
以格戸止

供今晚方、
有、
以保

造、
以保

一月水祝停止之事

一諸務員一涉之事

一清、
念主

清月見、
清月通

新、
之府

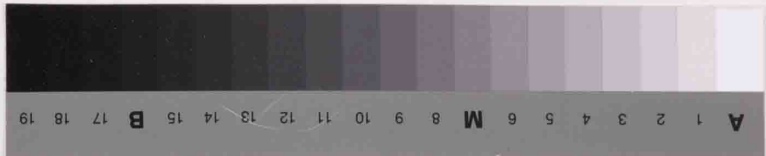
一、
以

一、
以

一、
以

一、
以

供、
以



成るを本務後為ニ又行出せしむ
若事所分通せし事

一月の山松生人其を所分人宛忘服
無し者此れを成事

在し通所分戸福安の者の上

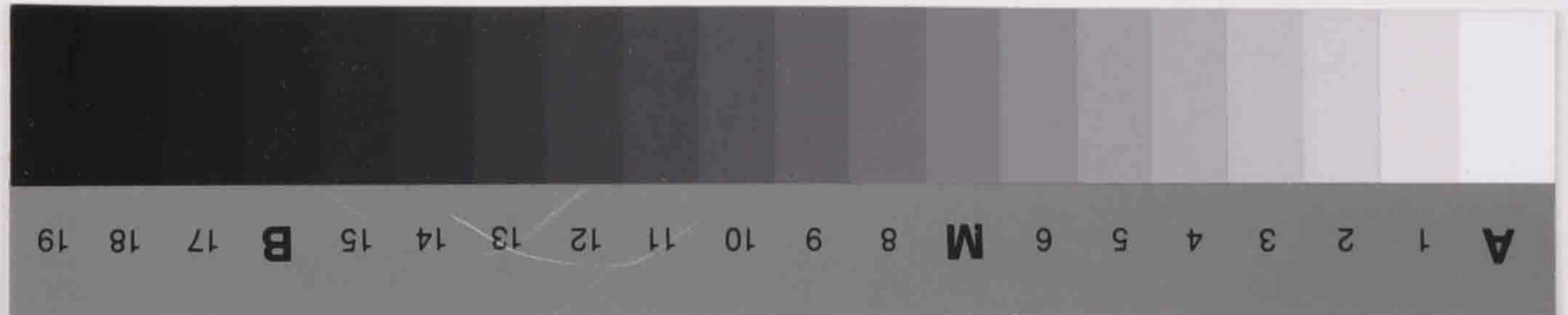
行司之

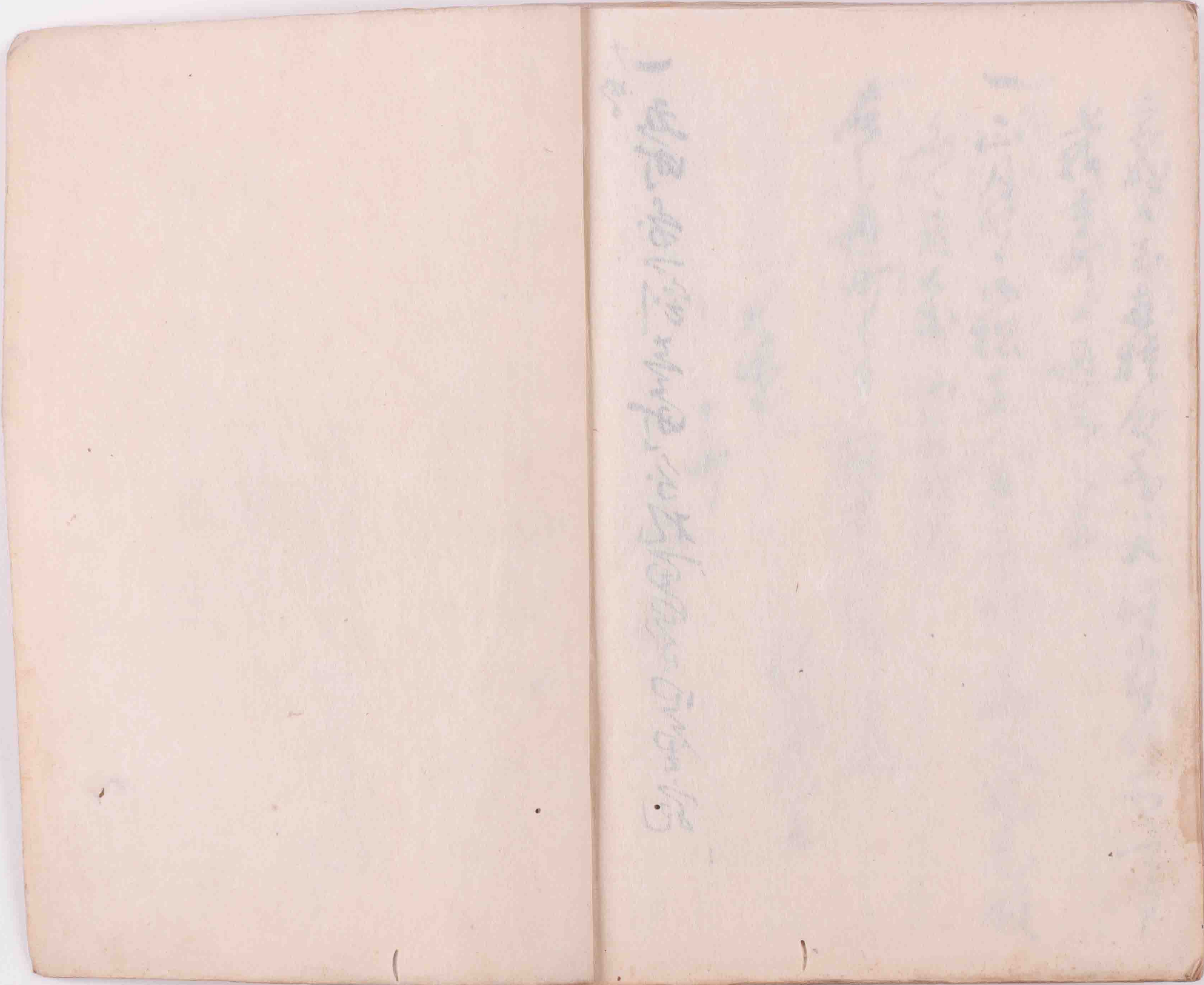
大考

十所

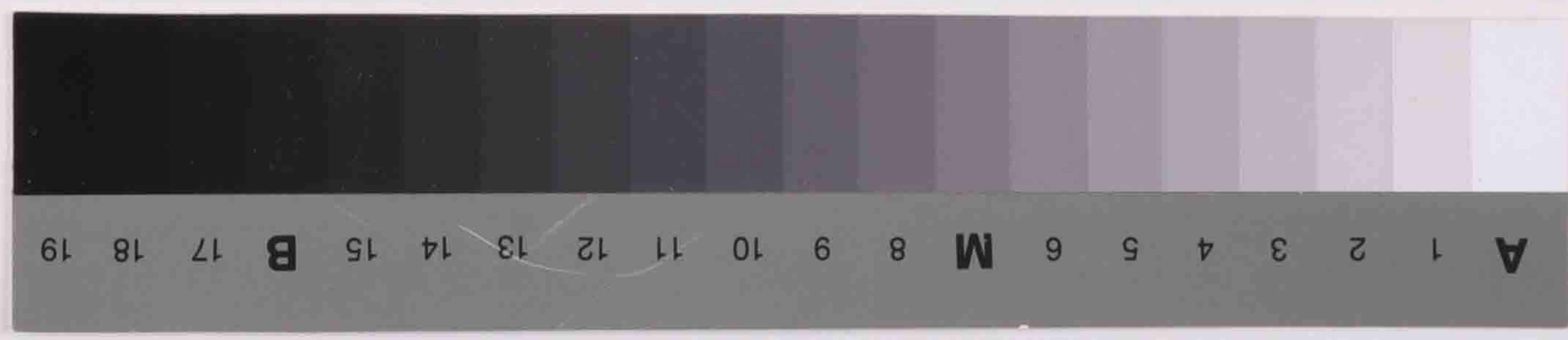
考之

大考
一五所考之割を所分れ百日宛宛





[Faint, illegible handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript.]



棟御歸館六月十三日

山王小田井西社立正寺江木下主鳥棟御代參六月廿日

賢明院様御法事身鳥目御施七月六日

寺町久保町名主

永井町分庄屋兼帯

鳥井忠左衛門

久保町分庄種屋七月十日
上名各事、向死云身尚言
川邊種屋身尚派十町、初身八月廿六日
子晚梅作、身身、身身八月十二日
出火、身身久保町分庄花壇後出火、身身六月六日八月廿日

